

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 片山 寛信 福間 麻紀

【概要】

子どもと家族の現状をふまえた上で、その課題やニーズに対する、児童福祉に関する制度や政策についての基本的な理解を得ることを目的とする。特に、子どもという存在の特性を理解した上で、児童福祉の理念と発展過程、児童福祉法と機関、児童福祉の実際況、子どもの貧困と人権問題の現状、児童福祉の課題について考える。

【学習目標】

1. 日本の児童福祉施策の概要と課題を説明できる。
2. 子どもと家族を取り巻く社会的な状況について理解する。
3. 子どもの存在の特性と子どもの人権について説明できる。
4. さまざまな状況にある子どもの存在とそれに対する制度・政策、実践を理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 子ども家庭福祉とは何か	受講上の諸注意 少子高齢社会と子ども家庭福祉問題をとらえる	片山
2	子ども家庭福祉の基本的考え方	子ども家庭福祉の意義と基本的枠組み、基本理念を理解する	片山
3	子どもという存在と子ども家庭福祉	子ども観の変遷と子どもの人権・権利保障を説明できる	片山
4	子ども家庭福祉の展開	日本と欧米の子ども家庭福祉の展開を説明できる	片山
5	子ども家庭福祉の制度	子ども家庭福祉の法律と施策、施設について説明できる	片山
6	子ども家庭福祉の援助	子ども家庭福祉の援助の基本と求められる倫理について説明できる	片山
7	母子保健・子どもの健全育成と家庭福祉	母子保健・子どもの健全育成の現状と課題について説明できる	片山
8	地域子育て支援と子ども家庭福祉	地域子育て支援の位置づけと施策について説明できる	片山
9	就学前の拠点型保育・教育と子ども家庭福祉	就学前の拠点型保育・教育の現状と課題について説明できる	片山
10	社会的養護・子ども虐待と子ども家庭福祉	社会的養護の現状と代表的なサービスについて説明できる 子ども虐待の現状と対応、課題について説明できる	片山
11	社会的養護・子ども虐待と子ども家庭福祉	社会的養護の現状と代表的なサービスについて説明できる 子ども虐待の現状と対応、課題について説明できる	片山
12	社会的養護・子ども虐待と子ども家庭福祉	社会的養護の現状と代表的なサービスについて説明できる 子ども虐待の現状と対応、課題について説明できる	片山
13	子どもの貧困・ひとり親家庭と子ども家庭福祉	子どもの貧困とひとり親家庭の現状と対策について説明できる	福間
14	心理的支援の必要な子ども・少年非行と子ども家庭福祉 障がいのある子どもと子ども家庭福祉	心理的支援の必要な子ども・少年非行の現状と対応について説明できる 障害のある子どもの状況と対策について説明できる	片山
15	子ども家庭福祉サービスの動向と展望	子ども家庭福祉の総括と今後の課題について説明できる	片山

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
	望	る	

【評価方法】

定期試験70% リアクションペーパーの記載内容30%

【備考】

教科書：山縣文治著『シリーズ・福祉を知る 子ども家庭福祉論 [第2版]』ミネルヴァ書房(2019)

参考書：社会福祉士養成講座編集委員会編「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」中央法規出版 2019

その他：この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」に該当する。教職課程(福祉)では、教科に関する科目の「高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉」に該当する。

【学習の準備】

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。(60分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,4

【実務経験】

片山 寛信(社会福祉士)

福間 麻紀(社会福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

児童養護施設や障がい者(児)相談支援事業所、医療機関や教育機関における、ソーシャルワークの経験を生かした、実践的教育を行なう。